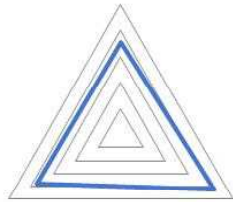
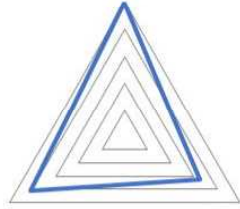



1 「さ・ぬ・き力」(非認知能力)に関する学級(35名)の実態

| 授業づくりの重点項目 | | |
|---|---|---|
| <p style="text-align: center;">さ力</p> <p style="text-align: center;">社交性</p>  <p style="text-align: center;">共感性 協調性</p> <p>「協調性」の自覚度が高い。中でも、「友達の話を最後まで聞こうとしている」「友達と一緒に活動している」という項目に対して肯定的に答えた割合が高い。普段の授業においても、友達の意見を取り入れながら学びを深めようとする姿が見られる。</p> <p>他に比べると、「社交性」の自覚度が少し低い。中でも「友達に気軽に声をかけている」という項目に対して否定的に答えた子供が13名いる。自分から話しかけることに苦手意識をもつ子供が学級の三分の一ほどいることが分かる。</p> | <p style="text-align: center;">ぬ力</p> <p style="text-align: center;">目標への情熱</p>  <p style="text-align: center;">粘り強さ 忍耐力</p> <p>「目標への情熱」の自覚度が高い。中でも、「目標を立てて、それを目指してがんばっている」「授業の中で、新しいことを知るのが楽しい」という項目に対して肯定的に答えた割合が高い。前向きに学習に取り組む姿が見られている。</p> <p>一方で、「粘：失敗を恐れずに行動しようとしている」「忍：苦手なことにも自分から挑戦している」という項目に対して肯定的に答えた割合は低くなっている。普段の様子から、失敗が怖いという気持ちから全体の場で発言することに苦手意識をもっている様子が見られる。</p> | <p style="text-align: center;">き力</p> <p style="text-align: center;">自分を信じる力</p>  <p style="text-align: center;">レジリエンス 自制心</p> <p>「信：自分には得意なことがある」という項目に対して肯定的に答えた割合が高い。一方で「信：自分に苦手なことやできないことがあっても、あまり気にしない」という項目に否定的に答えた子供が15名いる。高い目標を設定し、達成しようと努力するからこそ、このような自覚度として表れていると考えられる。</p> <p>他に比べると、「自制心」の自覚度が高い。中でも、「自分のしなければならないことをきちんと行っている」という項目に対して肯定的に答えた割合が高い。</p> |

2 教科に関する学級の実態

- ・資料(写真, 絵, 動画, グラフ, 文章など)を見て考えることが好き。(肯定的回答: 32名)
- ・社会科で友達と話し合うことは大切だと思う。(肯定的回答: 35名)
- ・社会科で勉強したことを振り返るのは大切だと思う。(肯定的回答: 35名)
- ・社会科の勉強は, 自分の生活に役に立つと思う。(肯定的回答: 34名)
- ・修学旅行で東大寺の大仏を見ている。その際, 大きさに驚いた子供が25名, 造り方に疑問をもった子供が8名, 造れたことに疑問をもった子供が6名いた。

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…状況を把握するのに時間がかかり, 活動への見通しがもてなかったり, 考えを整理して伝えることが苦手なため, 友達と話し合い, 考えを深めたりするのが難しい場合がある。周りから認めってもらったり, 助言をもらったりすることで話し合いに参加できるようになる。

「天皇中心の政治によって実現した東大寺の大仏造営」

学習指導者 網野 未来



1 本単元で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【詳細はこちら】

本単元では、聖武天皇が国を治めた頃に確立した天皇中心の政治の仕組みを明らかにしていく。各地で力をもった豪族が争いを繰り返していたことを知った子供たちは、不安定な世の中で、どのような政治を行おうとしたのかと聖徳太子や中大兄皇子などの働きに関心をもって学習していく。聖武天皇の頃、伝染病やききんなどで世の中が混乱したことを知った子供たちは、「どうやって世の中を安定させようとしたのだろう」という疑問をもつ。そして空間的視野や立場を広げながら聖武天皇が成し遂げたことを調べ、聖武天皇が仏教の力を借りて、国を守ろうとしたことを知る。さらに、大仏造営の様子を調べ、大勢の人々と大量のものが必要であったことを知った子供たちは、聖武天皇がなぜこんなにも人やものを集めることができたのかを考え、話し合っていく。例えば、「私はこの資料を見て、道路が整備されていたから、たくさんの人やものを集めることができたと考えたよ」「なるほど、確かに道路も必要だね。私はこの資料から、国司の命令によって人やものが集まったと考えたよ」「確かに、道路が整備されても、天皇の命令に従う仕組みがなければ、人やものは集まらないな」「人やものを集められたのは、天皇中心の政治の仕組みや道路の整備があったからだね」などと、友達と交流しながら多様に考えていくのである。このような学習を通して、地方から中央に人やものを集めることができた天皇中心の政治の仕組みが確立したことによって大仏造営という大規模な事業が実現できたことを当時の世の中の様子を想像しながら理解した子供たちは、その後の歴史学習においても、政治の仕組みについて関心をもって調べたり、代表的な文化遺産を基に時代背景を考えたりしていくだろう。

2 単元計画と働きかけの概要（本時 5/6）

㊦：価値付け

| 次 | 学習の流れ | 働きかけ |
|---|---|--|
| 一 | <p>① 聖徳太子は、豪族たちの争いを治めるために何をしたのだろう</p> <p>豪族たちの争いが治まったことを知り、聖徳太子の働きについて疑問をもち調べる。聖徳太子が天皇中心の国を目指して政治の改革を行い、仏教をさかんにすることに力を入れたことを理解する。</p> | <p>見通し 情【学びの歴史】②～⑥</p> <p>人物の働きなどについて学習したことを基に、全体で話し合うことで抱いた疑問やその理由を共有し、課題解決の価値を感じられるようにする。㊦驚きや疑問を言葉にしたり、友達の発言に賛同したりするなどして課題が明確になった姿に共感する。</p> <p>行動 粘【考え発展タイム】②～⑥</p> <p>様々な資料を基に、友達の意見も参考にしながら考えたり話し合ったりする時間を設定する。㊦資料を基に多様な考えをもったり、友達との交流で考えを深められたりしたことが解決につながったことを称賛する。</p> <p>振り返り 信【自分いいねタイム】①～⑥</p> <p>課題解決につながった学び方を選択させるとともに、次に考えたいことを記述させる。㊦学び方のよさに気付くことができた姿や、次の時間に考えたいことを見いだすことができた姿を称賛する。</p> |
| | <p>② 中大兄皇子や中臣鎌足は、どのような政治を行ったのだろう</p> <p>年表を使って、聖徳太子以後の政治について見通しをもつ。中大兄皇子らの働きを調べ、大化の改新の後、公地公民や税の仕組み、律令などの政治の仕組みや道路網が整えられたことを理解する。</p> | |
| | <p>③ 聖武天皇は、どうやって世の中を安定させようとしたのだろう</p> <p>不安定な世の中をしずめようという思いを聖武天皇の立場に立って想像する。聖武天皇の働きを調べ、全国に国分寺を建設したり、東大寺の大仏造営を行ったりしたことを理解する。</p> | |
| 二 | <p>④ 大仏は、どのようにしてつくられたのだろう</p> <p>大仏造りを調べ、行基の協力もあって、各地から大勢の人々と大量のものが集まり、渡来人の技術によって造られたことを理解する。</p> | |
| | <p>⑤ 聖武天皇は、なぜこんなに人やものを集めることができたのだろう</p> <p>天皇中心の政治の仕組みが整っていたからこそ、天皇の命令により全国から人やものを集めることができたことを捉える。</p> | |
| | <p>⑥ 大仏がつくられた頃、外国とはどのような交流が行われたのだろう</p> <p>大仏開眼式の様子について調べ、大仏建立の際には、大陸から僧侶を招くなど、中国との交流を通して、アジアやヨーロッパの文化が伝わったことを理解する。</p> | |

3 本時の学習

| | |
|--------|---|
| 目 標 | 聖武天皇が多くの人やものを集めることができた理由を考え話し合う活動を通して、天皇の命令が地方へ届き、天皇が労働力や税を集めることができるという政治の仕組みと天皇の力の大きさとの関連を捉えることができる。 |
|--------|---|

| 学習活動と働きかけ | 主な子供の意識 | | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|--|---|
| 見 通 し | <p>1 学習課題を確認する。 【学びの歴史】 【目標への情熱】</p> <p>聖武天皇は、行基の力も借り、全国から大勢の人々や大量のものを集め、渡来人が伝えた技術によって、大仏を造ることができたよ。</p> <p>人の数だと全国から260万人で、499 t の銅、8.5 t のすずなどが使われたよ。</p> <p>260万人というのは、当時の人口の大体二人に一人が参加していたことになるね。銅の重さでいうと、小学6年生12500人分の重さになるね。</p> <p>実際にはたくさんの人やものが集まったよ。もちろん、行基の協力はあったけれど、それだけが集められた理由ではないだろうな。</p> | | | | | | |
| 聖武天皇は、なぜこんなに人やものを集めることができたのだろう | | | | | | | |
| 行 動 | <p>2 聖武天皇が多くの人やものを集めることができた理由を考え話し合う。 【考え発展タイム】 【粘り強さ】</p> <p>これまで学習したことを基に考えよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">私はこの資料を見て、道路が整備されていたから、たくさんの人やものを集めることができたのだと考えたよ。</td> <td style="width: 33%;">国司が天皇の命令に従って人やものを集めたと思うよ。国司は地方政治の最高責任者だから、人々も従ったと思うよ。</td> <td style="width: 33%;">すべての土地と人民は天皇のものとなっていたからだと思うよ。天皇は、地方から労働力や米を集められたよ。</td> </tr> <tr> <td>なるほど。地方には、都から国司が派遣されていたね。天皇の命令に従う仕組みがあったから、税を集めることもできたね。</td> <td>そうだね。豪族がもっていた土地も含めすべての人民と土地が天皇のものだったから、簡単に人やものを集められたね。</td> <td>私は、天皇のことだけを考えていたよ。○○さんの道路が整備されていたからという意見に納得したよ。</td> </tr> </table> <p>友達の意見を聞くことで、自分が考えていなかったことに気付けたよ。</p> | 私はこの資料を見て、道路が整備されていたから、たくさんの人やものを集めることができたのだと考えたよ。 | 国司が天皇の命令に従って人やものを集めたと思うよ。国司は地方政治の最高責任者だから、人々も従ったと思うよ。 | すべての土地と人民は天皇のものとなっていたからだと思うよ。天皇は、地方から労働力や米を集められたよ。 | なるほど。地方には、都から国司が派遣されていたね。天皇の命令に従う仕組みがあったから、税を集めることもできたね。 | そうだね。豪族がもっていた土地も含めすべての人民と土地が天皇のものだったから、簡単に人やものを集められたね。 | 私は、天皇のことだけを考えていたよ。○○さんの道路が整備されていたからという意見に納得したよ。 |
| 私はこの資料を見て、道路が整備されていたから、たくさんの人やものを集めることができたのだと考えたよ。 | 国司が天皇の命令に従って人やものを集めたと思うよ。国司は地方政治の最高責任者だから、人々も従ったと思うよ。 | すべての土地と人民は天皇のものとなっていたからだと思うよ。天皇は、地方から労働力や米を集められたよ。 | | | | | |
| なるほど。地方には、都から国司が派遣されていたね。天皇の命令に従う仕組みがあったから、税を集めることもできたね。 | そうだね。豪族がもっていた土地も含めすべての人民と土地が天皇のものだったから、簡単に人やものを集められたね。 | 私は、天皇のことだけを考えていたよ。○○さんの道路が整備されていたからという意見に納得したよ。 | | | | | |
| 振 り 返 り | <p>3 話し合ったことを発表し、まとめる。</p> <p>地方へ命令が届き、天皇が労働力や移動のための道路が整備されていたものを集められる仕組みが理由だよ。</p> <p>地方に命令し、天皇に労働力やものが集まる仕組みや、道路がもしなかったら、大仏造りはできていないと思うよ。聖徳太子から中大兄皇子、中臣鎌足、そして聖武天皇へと少しずつ天皇中心の世の中になっていったね。</p> <p>聖武天皇の頃は天皇中心の政治の仕組みが整っていて、天皇の力が大きかったからこそ、全国から多くの人やものを集めることができたね。</p> | | | | | | |
| 振 り 返 り | <p>4 本時の学習を振り返る。 【自分いいねタイム】 【自分を信じる力】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">話し合いの時に友達に質問できたことが目当ての解決につながったよ。</td> <td style="width: 50%;">友達の話をよく聞いたことが目当ての解決につながったよ。</td> </tr> <tr> <td>次は、聖武天皇の後の国の政治について調べていきたいな。</td> <td>次は、大仏が完成した時の開眼式の時の様子について詳しく調べたいな。</td> </tr> </table> | 話し合いの時に友達に質問できたことが目当ての解決につながったよ。 | 友達の話をよく聞いたことが目当ての解決につながったよ。 | 次は、聖武天皇の後の国の政治について調べていきたいな。 | 次は、大仏が完成した時の開眼式の時の様子について詳しく調べたいな。 | | |
| 話し合いの時に友達に質問できたことが目当ての解決につながったよ。 | 友達の話をよく聞いたことが目当ての解決につながったよ。 | | | | | | |
| 次は、聖武天皇の後の国の政治について調べていきたいな。 | 次は、大仏が完成した時の開眼式の時の様子について詳しく調べたいな。 | | | | | | |

| | |
|--------|--|
| 評 価 | 聖武天皇が人やものを集めることができた理由について、友達と交流しながら多様に考え、天皇の命令により、労働力やものを集められる仕組みがあったなどと政治の仕組みと天皇の力の大きさの関連について考えたことを表現し、次にしたいことを見いだしている。【方法：様相・記述】 |
|--------|--|

働きかけの詳細資料

～見通し～ 情【学びの歴史】(2～6時間目)

大仏造りについて学習したことをテレビ画面に映し、前時の学習内容について想起できるようにする。

はじめに前時の学習内容を振り返り、大仏を造るために、当時の人口の40%の260万人という大勢の人々が協力したことや、銅やすずなど、何れもの大量の物資が使われたことを確認する。そして、「どうしてこの目当てになったのか」と学習課題を設定した理由を問い、その人数や量に驚きがあったことや行基の協力はあったけれど、聖武天皇がなぜこんなに人やものを集められたのか分からなかったことを想起させる。こんなに人やものを集められたのは、聖武天皇の力が関係していることを全体で共有することで本時の課題を明確にし、考えていきたいという思いを高める。



【学びの歴史の一部】

価値付け 驚きや疑問に思うこと、その理由を発言できた子供に対し、「それはよく分からないね」などと共感する。また友達の発言を聞いてうなずくなどの肯定的な反応をしている姿を「友達の発言を聞いて、考えていきたい気持ちが強くなってきたね」などと共感する。

～行動～ 粘【考え発展タイム】(2～6時間目)

まず個人で、資料を基に考えたことを、学習支援アプリ上の該当する資料のカードに表現する。その際、近くの友達と相談しながら考えてもよいことを共通理解しておき、多様な考えをもてるようにする。その後、自由に交流する時間を設ける。互いの考えを伝えたり、質問したりすることで考えを広げたり深めたりできるようにする。考えが書かれたカードや、その根拠を互いに見せながら説明し合う。自分にはない考えや、同じ資料でも詳しく考えられている内容については友達にカードを送ってもらい、考えを取り入れられるようにする。A児に対しては、どの資料を基に考えていけそうか対話を行い、見通しをもてるようにする。また、友達との交流の前に個別に考えを尋ね、「～ということだね」とA児の考えを要約して伝えることで、自信をもって友達に考えを伝え、自分の考えを深めていけるようにしたい。



【考えを表現するクラゲチャート】

全体の話合いでは、聖徳太子以後の政治の仕組みと関連付けてまとめる。また、「もし天皇中心の政治の仕組みや道路が整っていなかったら…」と揺さぶり、補助黒板を使いながら、当時の政治の仕組みや道路の整備が大仏造営につながったことに気付けるようにする。

価値付け 全体交流後、複数の資料や友達の考えを参考にして、聖武天皇が多くの人やものを集めることができた理由について多様に考えられたことを、「これまでの資料を使ったり、友達の考えを参考にしたりして、様々に考えたから、疑問を解決することができたね」などと称賛する。

～振り返り～ 信【自分いいねタイム】(1～6時間目)

本時分かったことを全体で確認した後、振り返りカードに学び方や次に考えたいことについて記述する場を設ける。学び方については、「自分の考えをもった」「友達に質問した、意見を言った」「友達の話を聞いた」という項目の中から、課題解決に特につながったと思うものを一つ以上選び、○を付けるようにする。その後、次に考えたいことを全体で共有することで、次時の学習への課題意識を高められるようにする。

| 振り返りカード | | |
|--|---------------------|----------|
| 6年()組 名前() | | |
| ☆ 最後まで解決するために、自分が特にできたこと一つ以上選び、○を付けよう。 | | |
| ☆ 今日の学習をふまえて、次に考えたいことを書きましょう。 | | |
| 日付 | めあてを解決するために、特にできたこと | 次に考えたいこと |
| | 自分の考えをもった | |
| | 友達に質問した、意見を言った | |
| | 友達の話を聞いた | |

【振り返りカード】

価値付け 振り返りを全体で共有する際に、課題解決のために、自分の考えをきちんともてたことや、話合いで友達に質問をしたり意見を言えたりしたことを想起できている姿や、本時の学習から次の時間に考えたい内容を見付けられている姿を称賛する。